

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

2024 年 6 月 30 日

神戸市長 宛

提出者

住所 東京都杉並区高井戸東3-8-13N A F
第3ビル

氏名 ケンコーマヨネーズ株式会社
代表取締役社長 島本国一

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 03-5962-7777

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	69 J 050 1053 ケンコーマヨネーズ株式会社 西神戸工場
事業場の所在地	神戸市西区高塚台7丁目2番2号
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	90食料品製造業 0934ソース製造業 0995冷凍調理食品製造業 0996そう（惣）菜製造業
②事業の規模	製造品出荷額 12,626,222千円 （令和5年度実績）
③従業員数	252名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	「別紙1」参照

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	
(管理体制図) 「別紙2」参照	

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	別紙3 参照 t	t
	(これまでに実施した取組) 第2面～第5面の内容については「別紙3」を参照		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第6面)

備考

1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2 当該年度の6月30日までに提出すること。

3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

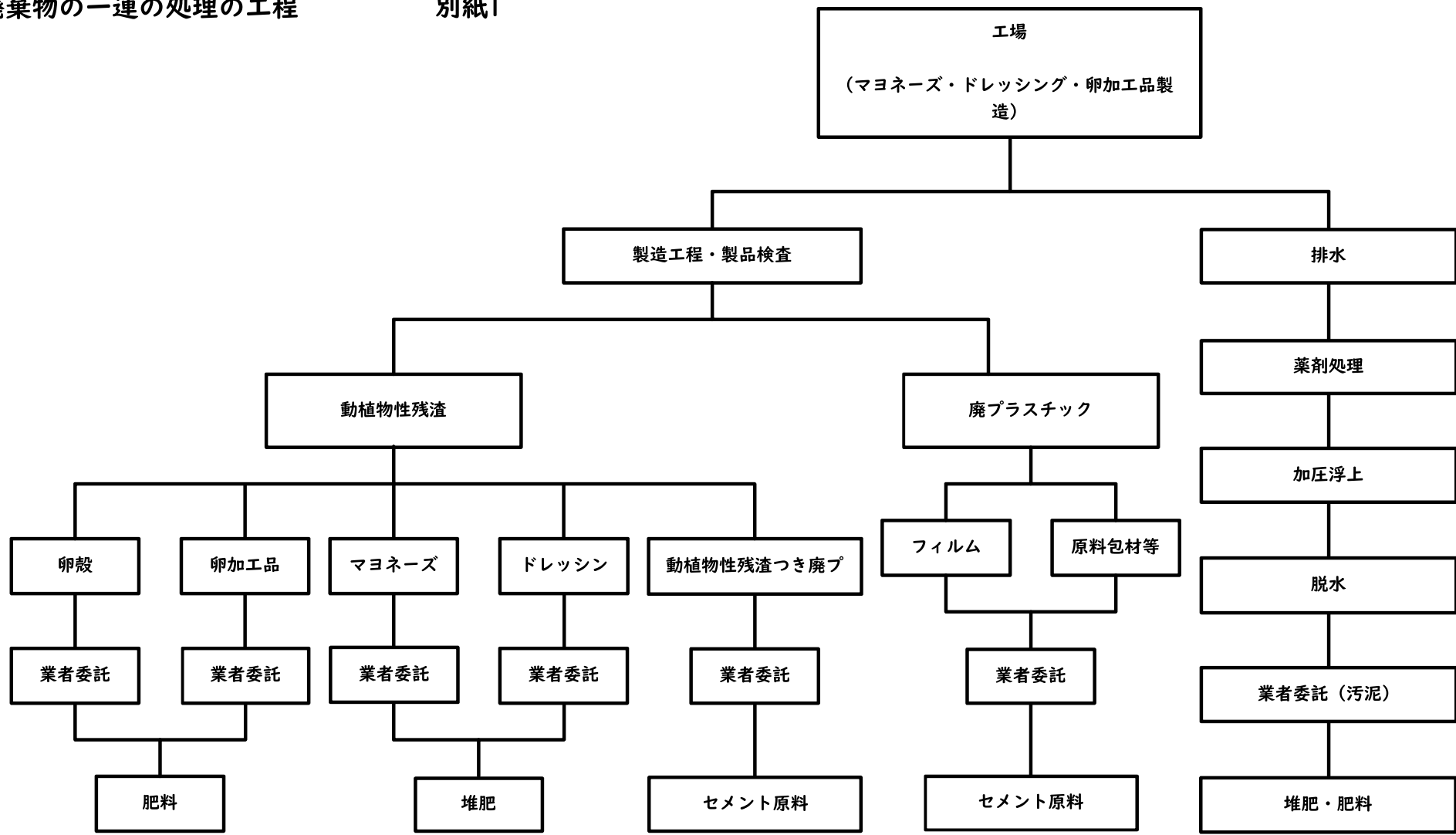
(3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

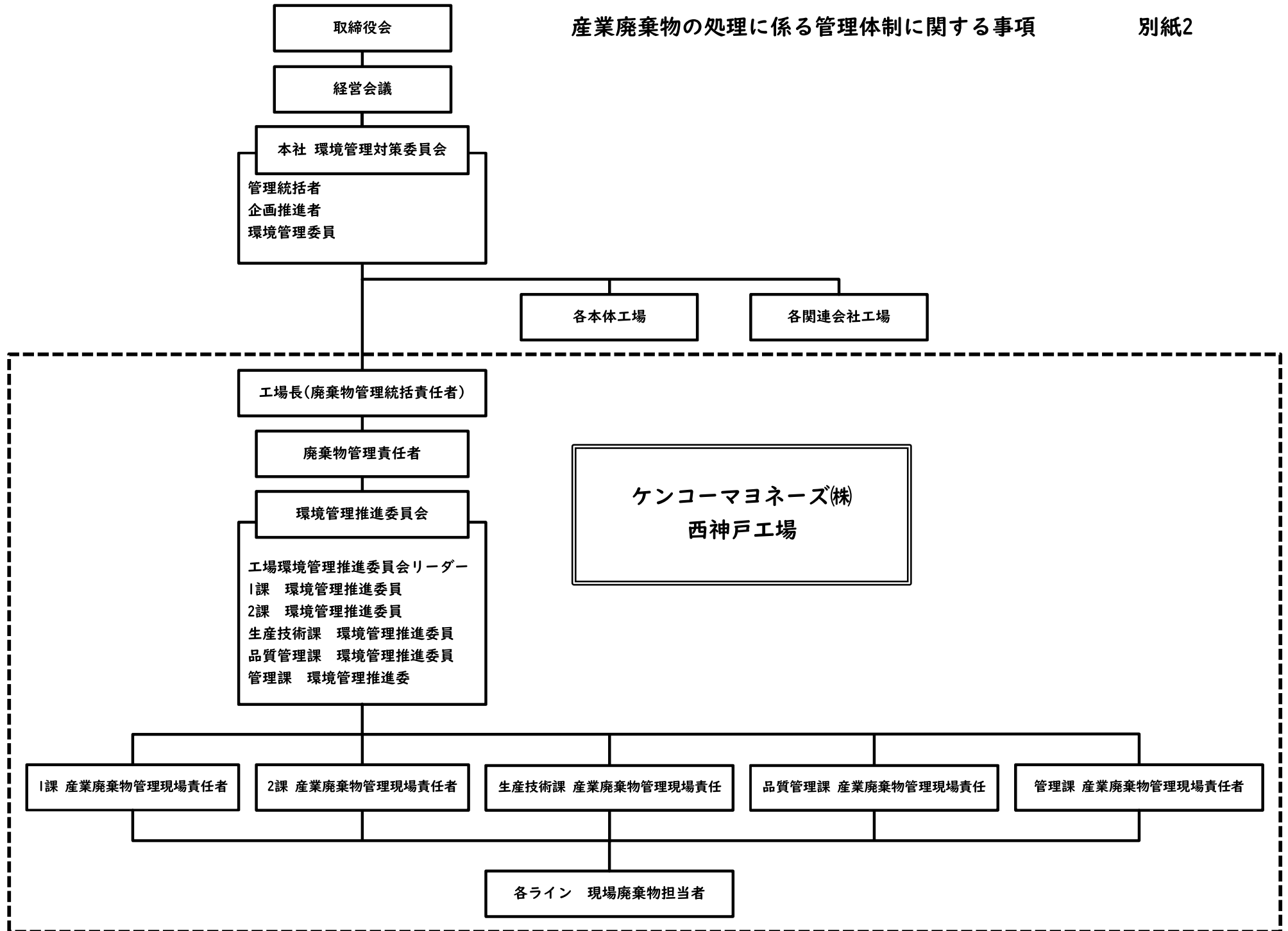
4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。

7 ※欄は記入しないこと。





別紙3 産業廃棄物処理計画書 第2面～第5面

(第2面)				
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
①現状	【前年度（令和 5年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	0200 汚泥	1000 動植物性残渣	0600 廃プラスチック類
	排出量	2947 t	2467 t	40 t
	(これまでに実施した取組) ① 製品歩留まり向上の取り組みによる廃棄量削減 ② 廃棄卵・卵殻除水による廃棄量の削減 ③ 生産に用いる配管径・配管経路短縮による廃棄量の削減 ④ 配管残の製品回収による廃棄量の削減			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	0200 汚泥	1000 動植物性残渣	0600 廃プラスチック類
	排出量	2936 t	2400 t	35 t
	(今後実施する予定の取組) ① 生産工程の見直しによる廃棄量の削減 ② 廃棄卵・卵殻除水による廃棄量の削減 ③ 生産に用いる配管径・配管経路短縮による廃棄量の削減 ④ 配管残の製品回収による廃棄量の削減			
産業廃棄物の分別に関する事項				
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ① 廃棄物別に番号管理をして、分別の徹底を継続する			
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ① 廃棄物別に番号管理をして、分別の徹底を継続する ② 廃棄物の保管場所についての見取図を掲示し、周知を行う			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t
	(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	0200 汚泥		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	2418 t	t	t
(これまでに実施した取組)				
① 汚泥の脱水施設メンテナンス強化 ② 薬剤の見直し ③ 微生物の添加				
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	0200 汚泥		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	2350 t	t	t
(今後実施する予定の取組)				
① 汚泥の脱水施設メンテナンス強化 ② 薬剤の見直し ③ 微生物の添加 ④ (脱水後の) 汚泥除水による廃棄量の削減				

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t
	(今後実施する予定の取組)			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	0200 汚泥	1000 動植物性残渣	0600 廃プラスチック類
	全処理委託量	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	532	2467	40
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t
	(これまでに実施した取組)			
① 配管径の変更による廃棄物排出量の削減 ② 排水処理施設にて新設備導入による汚泥発生量の削減 ③ 製品歩留まり向上による廃棄物排出量の削減 ④ 工場設備改善による不具合品削減 ⑤ 設備メンテナンス強化による不良品撲滅				

【目標】				
産業廃棄物の種類	0200 汚泥	1000 動植物性残渣	0600 廃プラスチック類	
全処理委託量	t	t	t	
優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	
再生利用業者への処理委託量	t	t	t	
認定熱回収業者への処理委託量	530 t	2400 t	35 t	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	
(今後実施する予定の取組) ① 配管径の変更による廃棄物排出量の削減 ② 排水処理施設にて新設備導入による汚泥発生量の削減 ③ 製品歩留まり向上による廃棄物排出量の削減 ④ 工場設備改善による不具合品削減 ⑤ 設備メンテナンス強化による不良品撲滅 ⑥ 廃棄卵・卵殻除水による廃棄量の削減				